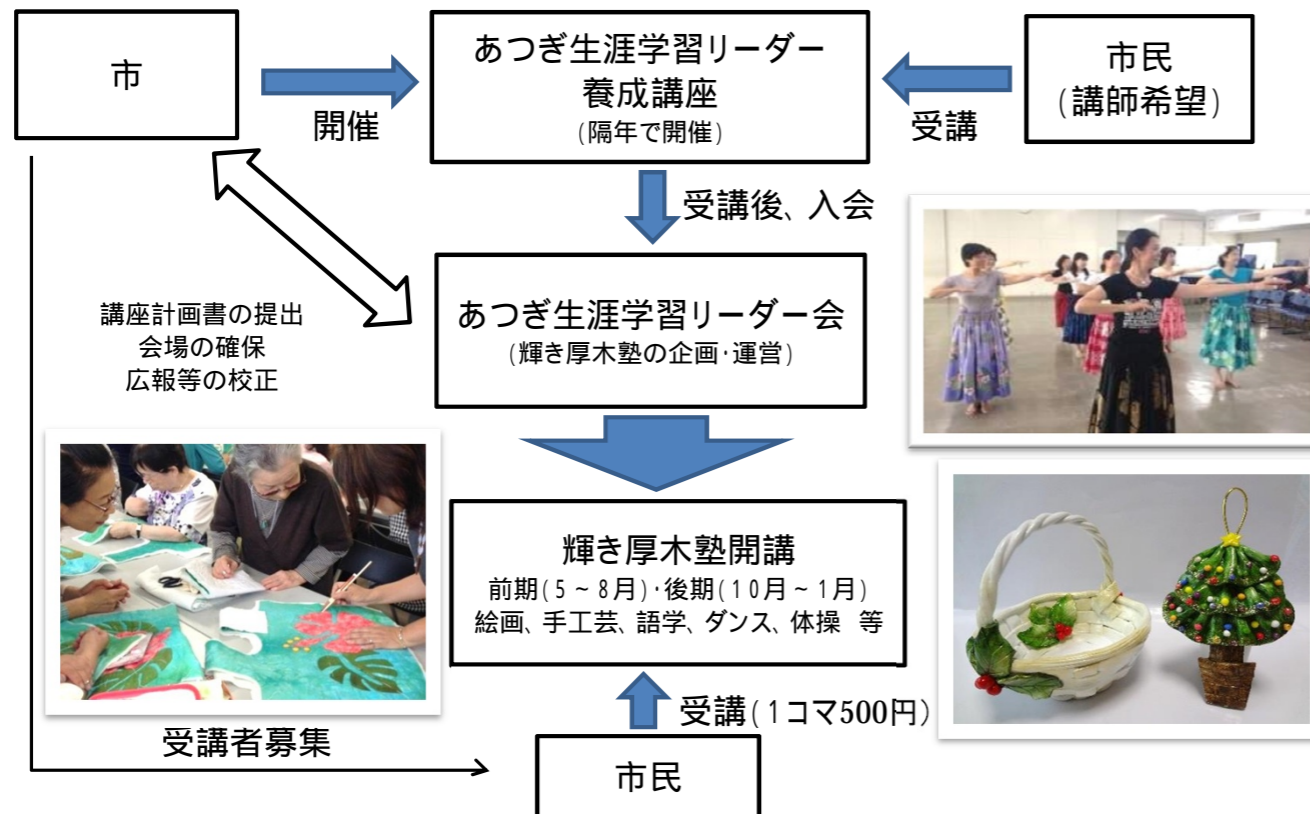


【事業番号6】輝き厚木塾開設事業費 事業概要シート

担当部名	市民協働推進部	事業名 (子事業名)	輝き厚木塾開設事業費
担当課名	文化生涯学習課	根拠法令・例 規・要綱等	厚木市輝き厚木塾開設要綱
担当係名	生涯学習推進係		輝き厚木塾の実施に関する協定書
事業開始年度	平成18年度		
関連する事業 (子事業名)			
事業概要			
目的	市民の多様な学習意欲に応え、市民が講師となり生涯学び続ける場と機会を提供し、市民と行政の協働による生涯学習のまちづくりを実現する。		
対象	市内在住、在勤、在学の市民等		
実施方法	市主催のあつぎ生涯学習リーダー養成講座を受講し、あつぎ生涯学習リーダー会（リーダー会）に入会した方（あつぎ生涯学習リーダー）が、輝き厚木塾の講師として講座を開講する。		
事業詳細	<p>1 あつぎ生涯学習リーダー養成講座                  【開催時期】隔年                  【講座内容】学識経験者等による講義及び講座の自主企画・運営方法についてなど                  【受講要件】・厚木市に在住、在勤、在学している方 ・講座企画、講座運営ができる方                  ・リーダー会に所属して、運営に携われる方 など                  【講師】学識経験者等及びあつぎ生涯学習リーダー</p> <p>2 輝き厚木塾                  【開催時期】前期（5～8月）及び後期（10～1月）                  【会場】市内公共施設                  【講座内容】各講師が教えることのできる講座                  【講師】あつぎ生涯学習リーダー                  【受講料】1コマ500円</p>		
事業の効果	市民講師20人、23講座でスタートした「輝き厚木塾」は、10年目となる平成27年度末までに163人の市民講師を養成し、実施講座数は延べ1,209講座、講座受講者数は延べ14,585人まで拡大し、市民と行政の協働により本市の生涯学習の推進が図られている。 また、「輝き厚木塾」は、市民が生き生きと輝きながら活躍・活動できる生涯学習の場となっている。		
事業周知方法 ・内容	・広報あつぎ特別号（8月15日号及び3月15日号）の発行 ・市ホームページ掲載及びマイタウンクラブホームページへ掲載 ・輝き厚木塾冊子を市内公共施設へ配架		

事業の全体像（フロー図、写真などを用いて事業の様子を視覚的に説明）



代表的な事業指標	指標名	輝き厚木塾実施講座数					
	指標の説明	前期(5～8月)及び後期(10～1月)に実施した講座の数					
		単 位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	指標備考
	目標	講座	152	157	167	172	・受講者数 H25 1,569人 H26 1,919人 H27 1,868人
	実績	127	163	158			
	達成率	83.6%	103.8%	94.6%			
事業のコスト							
コスト	単位	平成26年度(決算)		平成27年度(決算見込み)		平成28年度(予算)	
	事業費		766	844	1,519		
	人件費	千円	6,188	6,316			
	総計		6,954	7,160			
人件費内訳	平成26年度人件費内訳(単位:千円)			平成27年度人件費内訳(単位:千円)			
	行政職1	@ 8,251 × 0.75 人 =	6,188	行政職1	@ 8,421 × 0.75 人 =	6,316	
	行政職2	@ 8,054 × 人 =	0	行政職2	@ 8,304 × 人 =	0	
	消防職	@ 8,540 × 人 =	0	消防職	@ 8,672 × 人 =	0	
	再任用	@ 3,455 × 人 =	0	再任用	@ 3,514 × 人 =	0	
	臨時職員	@ 1,190 × 人 =	0	臨時職員	@ 1,186 × 人 =	0	
	その他	× 人 =	0	その他	× 人 =	0	
事業費及び財源内訳(千円)	年度	総額	一般財源	国県支出金	市債	その他	
	H26(決算)	766	766				
	H27(決算見込み)	844	844				
	H28(予算)	1,519	1,519				
事業費内訳	【平成28年度予算の内訳】 報償費 40千円(生涯学習リーダー研修講師謝礼) 需用費 70千円(用紙代、講師昼食代) 委託料 1,409千円(広報あつぎ特別号作成委託料)						
市民要望 社会的要請 課題	いつでも、どこでも、誰でも、何でも学ぶことができる生涯学習機会の充実や、学習成果をいかした生涯学習環境の整備などが求められており、本市の生涯学習を推進する必要がある。 自由時間の増大や教育水準の向上などを背景とし、価値観が多様化し、生涯を通じての生きがいや自己表現など、人間性豊かな生活を求める意識が高まってきている。 開講から10年が経過し、市とリーダー会の役割について、見直す必要がある。						
上記課題等への 対応や見直しの 方向性	市民協働の中で、輝き厚木塾を「あつぎ生涯学習リーダー会」がより主体的に運営していくよう市とリーダー会の役割を見直す。						
直近3年以内の 事業見直しの 有無とその内容	見直しの有無	有					
		受講申込み受付業務をリーダー会が行うこととした。					